神戸市ネットモニターアンケート調査結果

テーマ	後援名義
調査期間	2025 年 12 月 24 日（水曜）～ 2026 年 1 月６日（火曜）
設問数	全６問（分岐設問除く）
対象モニター数	9,667 名
回答モニター数	5,070 名（52.5%）

【調査結果概要】

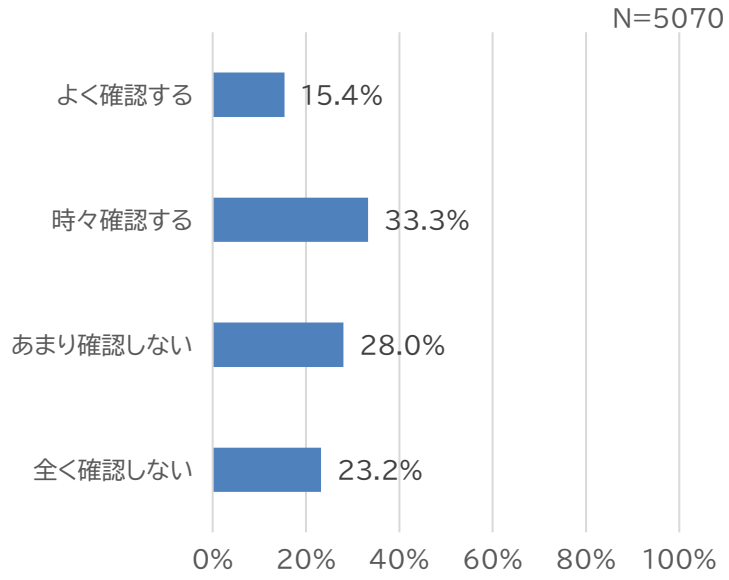
神戸市では、イベントや講演会などで利用されている「後援名義」制度の見直しを検討しています。制度の認識や受けとめ方について確認するため、みなさまにご意見を伺いました。

・後援名義を「確認する」方は約半数
　「後援 神戸市」「後援 神戸市教育委員会」などの表記をイベント参加前に確認する方は約半数でした。後援名義は、参加を検討するにあたって“目にする情報のひとつ”として一定の認識があることが分かりました。
・印象には影響するが、参加には大きな影響はない
　後援があると「主催者を信頼できる」「内容に安心感を持てる」との声がある一方、内容で判断するため「ほとんど影響しない」「全く影響しない」と回答した方も多く、後援名義は参加判断の“決め手”にはなっていないことが分かりました。
・後援名義に対する主な意見（自由記述より）
　安心感・信頼感が高まる
　　「神戸市が関わっていると思うと安心」「一定の信頼基準として役に立つ」
　知らなかった・誤解していた
　　「これまで気にしたことがない」「神戸市が費用を支援していると思っていた」
　審査基準や表示方法を求める声
　　「選定の基準が明確でない」「後援の意味を見る人にも分かるようにしてほしい」

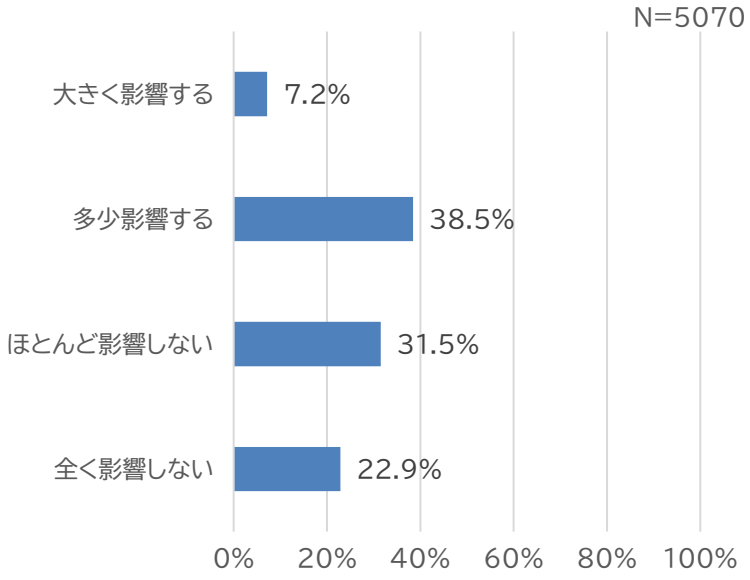
【総評】

今回のアンケートでは、後援名義は「参加判断の決定打ではないものの、一定の安心材料として受け止められている」ことが分かりました。
一方で、後援＝資金支援と誤解されている点や、審査基準・意味が分かりにくいという指摘もあり、後援名義を適切に理解していただくための説明が求められていることも明らかになりました。
制度のあり方については、「なくても参加に大きく影響しない」という声が多い一方、特にこども向けのイベントでは“あると安心できる”という意見もあり、後援名義が果たす役割は分野によって異なる可能性が示されました。
全体として、後援名義制度は、市民の誤解を避けつつ、本来の趣旨を丁寧に説明することが重要と言えます。
制度の見直しを検討するにあたっても、こうした皆さまの受けとめ方を踏まえながら、より分かりやすい形へ整理していく必要があると考えます。

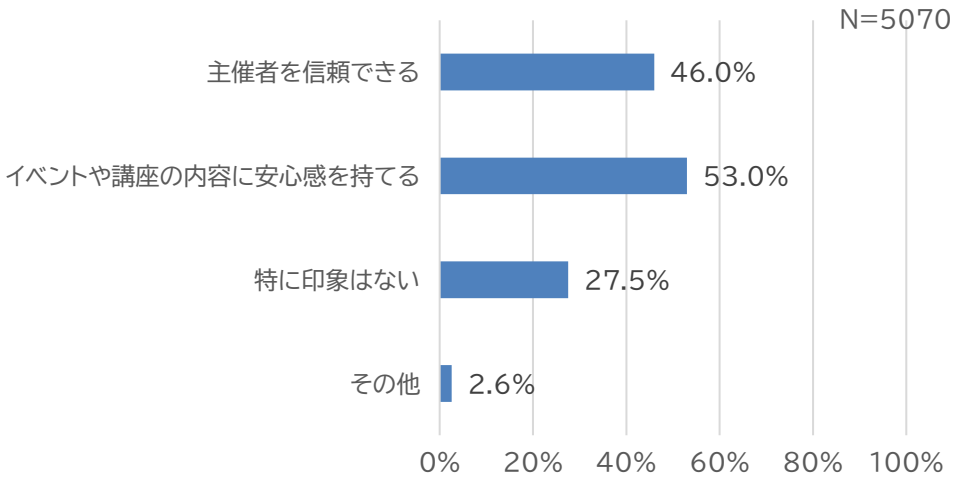
問１　イベントや講座に参加するとき、「後援　神戸市」「後援 神戸市教育委員会」などの後援名義を確認しますか。



問２　神戸市の後援名義があることで、参加を決めるときに影響がありますか。

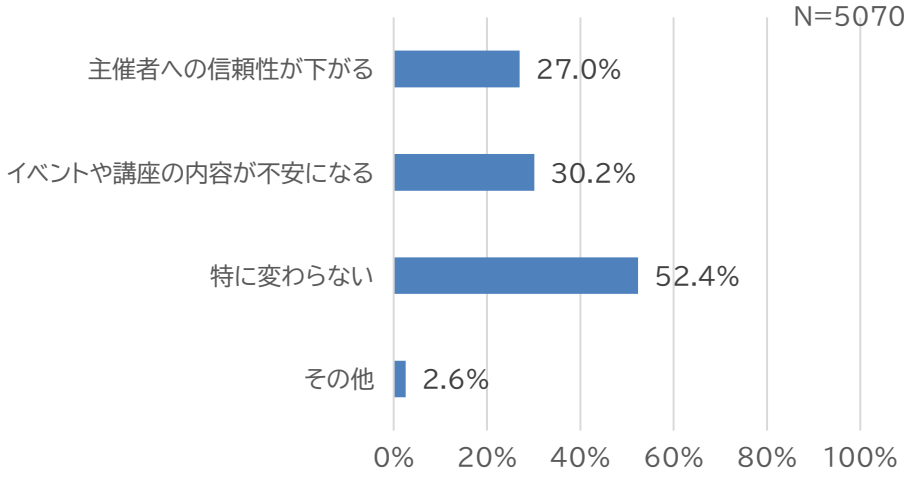


問３　神戸市の後援名義があるイベントや講座に対して、どのような印象を持ちますか。（該当するものすべて）



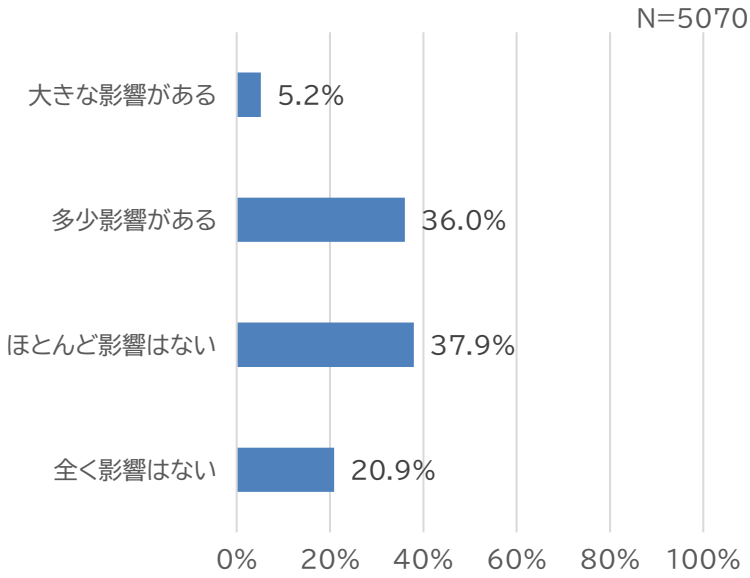
その他
・神戸市が関わっていると思うと安心できる
・神戸市が費用を支援していると思っていた
・後援名義がどのような基準で認められるのか分からない

問４　神戸市の後援名義がなくなった場合、どのように感じますか。（該当するものすべて）



その他
・不安にまではならないが、なぜ後援がなくなったのか気になる
・神戸市との関係がなくなったのかと思う
・内容で判断しているので影響はない

問５　神戸市の「後援名義」制度を廃止すると、あなたのイベントや講座への参加に影響があると思いますか。



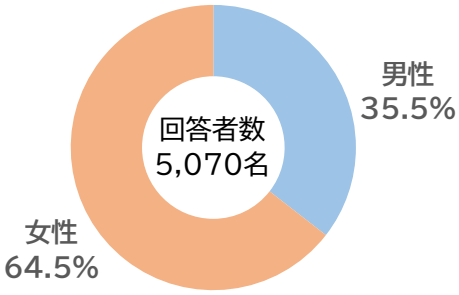
問６　後援名義について、ご意見ご感想があれば自由にお聞かせください。

・神戸市の後援があれば安心感がある
・子どもが参加するイベントは後援がついていると特に安心
・行政のチェックが入っていると思えるので、一定の信頼基準として役に立つ
・神戸市がそのイベントを応援していることが分かるので続けて欲しい
・これからも内容を精査して後援名義をつけて欲しい
・これまで気にしたことがなく、制度を知らなかった
・神戸市が費用を支援していると誤解していた
・後援名義を続ける事務が大変なら審査などを簡素化してはどうか
・選定の基準が明確でないように思う
・後援の意味を見る人にも分かるようにして欲しい
・後援がある方が安心感はあると思うが、なくても構わない
・廃止されても、特に問題ないと思う
・神戸市が関わって開催しているように誤解するので必要ない
・イベント内容で参加を判断しているので必要ない

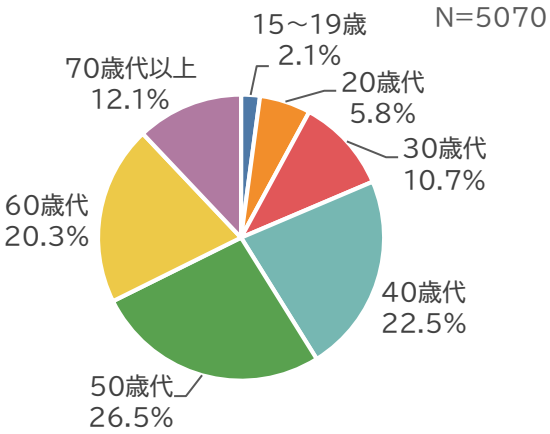
全 1,111 件のご意見をいただきました。ありがとうございました。

回答者構成比

【性別】



【年代】



【区】

